

帆かけサバニクルーズ

海と人

HENTONA SABANI

サバニとは沖縄の島々で古くから使われてきた伝統ある木造の船です。船長を務めるのは「てっぺい船長」こと、邊土名 徹平（へんと なたっぺい）さん。そして奥さんの「マッチ」こと、邊土名有佳子（ゆかこ）さんがメインガイドを務めます。石垣島にてサバニ大工に弟子入りし腕を磨いた経験を活かし、現在は大宜味村で船大工兼サバニ船長として2足の草鞋を履きながらサバニの魅力をお皆さんにお伝えしています。

シェルパの おすすめポイント

てっぺい船長によって造られた立派なサバニ。船大工だからこそ知っているサバニの魅力を知ることができます。また、エンジンを使わず風と人力でスーッと進んでいくので、普段船酔いする方でも快適に過ごせるはず。塩屋湾に浮かぶ帆かけサバニは、おじいおばあの郷愁を誘い、子どもたちにとっては憧れの風景でもあります。



プログラム内容

白い大きな帆を広げ、サバニクルーズの旅へ出かけよう！船長の掛け声のもとみんなで息を合わせて漕いだり、途中で足を海につけて休んだり。小さなお子様から年配の方までみなさんに楽しんでいただけるツアーとなっております。沖縄本島北部、大宜味村の塩屋湾や周辺海域の美しい風景をぜひお楽しみください。

対象年齢

1歳以上

所要時間

2時間

場所

大宜味村塩屋湾周辺

催行人数

2～6名

服装・持ち物

濡れても良い服装（乗下船する時に足もと、漕いだ時にしぶきで多少濡れます）、濡れても良い履物（マリンシューズ推奨）、タオル、着替え、酔い止め（必要な方）



やんばるホテル

南溟森室